監査ログにアクセスして確認する
StorageGRID

NetApp
April 10, 2024

This PDF was generated from https://docs.netapp.com/ja-jp/storagegrid-116/s3/s3-operations-tracked-in-audit-logs.html on April 10, 2024. Always check docs.netapp.com for the latest.

目次

監査ログにアクセスして確認する 1
監査ログで追跡される S3 処理 1

監査ログにアクセスして確認する

監査メッセージは StorageGRID サービスによって生成され、テキスト形式のログファイルに保存されます。監査ログの API 固有の監査メッセージにより、セキュリティ、運用、およびパフォーマンスについて、システムの健全性の評価に役立つ重要な監視データが提供されます。

必要なもの

- 特定のアクセス権限が必要です。
- 「 passwords.txt 」ファイルがあります。
- 管理ノードの IP アドレスを確認しておきます。

このタスクについて

アクティブな監査ログ・ファイルの名前は「 audit.log 」で、管理ノードに保存されます。

1 日に 1 回、アクティブな audit.log ファイルが保存され、新しい「 audit.log 」ファイルが開始されます。保存されたファイルの名前は ' 保存された日時を '*yyyy-mm-dd.txt*' の形式で示します

1 日後、保存されたファイルは圧縮され、元の日付を保持する「 *yyyy-mm-dd.txt.gz*` 」の形式で名前が変更されます。

この例は ' アクティブな 'audit.log' ファイル ' 前日のファイル (2018-04-15.txt`) ' および前日の圧縮ファイル (2018-04-14.txt.gz') を示しています

```
audit.log
2018-04-15.txt
2018-04-14.txt.gz
```

手順

1. 管理ノードにログインします。
   a. 次のコマンドを入力します。 ssh admin@*primary_Admin_Node_IP*`
   b. 「 passwords.txt 」ファイルに記載されたパスワードを入力します。
2. 監査ログファイルが保存されているディレクトリに移動します。

   ```
   cd /var/local/audit/export
   ```

3. 必要に応じて、現在の監査ログファイルまたは保存された監査ログファイルを表示します。

監査ログで追跡される **S3** 処理

バケットおよびオブジェクトのいくつかの処理は、 StorageGRID の監査ログで追跡されます。

監査ログで追跡されるバケットの処理

- バケットを削除します
- バケットのタグ付けを削除します
- 複数のオブジェクトを削除します
- GET Bucket （ List Objects ）
- GET Bucket Object versions
- GET Bucket tagging
- HEAD Bucket （ヘッドバケット）
- PUT Bucket の場合
- PUT Bucket compliance で確認してください
- PUT Bucket tagging
- PUT Bucket versioning の場合

監査ログで追跡されるオブジェクトの処理

- Complete Multipart Upload の実行
- Upload Part （ ILM ルールの取り込み動作が Strict または Balanced に指定されている場合）
- Upload Part - Copy （ ILM ルールの取り込み動作が Strict または Balanced に指定されている場合）
- オブジェクトを削除します
- オブジェクトの取得
- HEAD Object の実行
- POST Object restore の実行
- PUT Object の場合
- PUT Object - Copy の各コマンドを実行します

関連情報

バケットの処理

オブジェクトの処理

著作権に関する情報

Copyright © 2024 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、http://www.netapp.com/TMに記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。